



八瀬の流れ

月立小学校 校長 鹿野田忠之
令和4年8月29日 発行
第 5 号

「三つの幸せ」(夏休み明け集会の話から)

長かった夏休みも終わり、今日からまた学校が再開されます。皆さん、夏休みは楽しく過ごせまし

たか？夏休み前に、校長先生からみんなに二つのお願い（「心と体をリフレッシュ」「大人に頼らずに、自由な時間を自分で考えて計画的に過ごすこと」）をしていましたが、覚えていますか？みんなこの二つをしっかりと実行し、一回りも二回りも成長してきたのではないかと思います。

さて、のんびりした生活、自分の自由にできる生活は昨日までです。今日からは、しっかり学校のリズムに戻して、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

さて、今日は「幸せ」について考えてみたいと思います。人間には「三つの幸せ」があると言われています。

一つ目は、「してもらう幸せ」です。例えば、勉強で分からないところを友達に教えてもらったり、重い荷物を運んでいるときに手伝ってもらったりすると、うれしい気持ちになりますよね。これが「してもらう幸せ」です。お家の人や友達、先生から教えてもらったり助けてもらったりして、うれしくなった経験がたくさんあると思います。

二つ目は、「できる幸せ」です。勉強が分かるようになった、縄跳びで新しい技ができるようになった、一人で自転車に乗れるようになった、スポーツや習い事などが上手になった…。言い換えると「自分でできるようになった幸せ」です。できなかったことができるようになったときや、何でも自分の力でできるようになるとうれしくなりますね。これが「できる幸せ」です。

そして、三つ目の幸せ。これが一番大事で、最高の幸せです。さあ、一体どんな幸せだと思いますか。それは、「してあげる幸せ」です。「誰かが困っていたら助ける」「友達が独りぼっちでいたら声をかけて一緒に遊ぶ」「ごみが落ちていたら拾う」など、他の人に対して「してあげる幸せ」です。誰かに何かをしてあげれば、してもらった人は喜び、笑顔になって「してもらう幸せ」を感じます。でも、その喜んで笑顔になった姿を見ることで、実は自分自身も「してあげる幸せ」を感じて、同じように「幸せ」な気持ちになっているのです。また、そういう優しい人は誰からも好かれます。だから、そういう人の周りには、優しい人たちがたくさん集まってきます。たくさんの人を幸せにする「してあげる幸せ」が一番大事で、最高の幸せなのです。

「三つの幸せ」について話をしましたが、月立っ子には、特に次の「二つの幸せ」について意識してほしいと思っています。

一つ目は、勉強に運動にしっかり頑張って、「できる幸せ」を感じてほしいということです。しかし、そのためには、諦めずに努力することも必要です。努力しないと「できる幸せ」を感じることはできません。何事にも努力を忘れずに取り組んでほしいと思っています。

二つ目は、周りのことに気配りをしながら「してあげる幸せ」を感じてほしいということです。友達がどんなことで困っているのか、自分にはどんなことができるのかを意識しながら生活しないと、この「してあげる幸せ」を味わうことはできません。周りのことがよく見える人は、「してあげる幸せ」をたくさん感じるができると思います。周りのことをよく見ながら学校生活を送ってほしいと思います。



月立っ子の応援、よろしくお願いします